

平成 29 年度 ふるさとものづくり支援事業

市町村名	佐賀県武雄市	
事業名	武雄生姜PR（Beジンジャー拡販）プロジェクト	
企業等概要	企業等の名称	武雄市商工会
	代表者氏名	会長 山口 康雄
	所在地	佐賀県武雄市北方町大字志久 1662（北方事務所）
	連絡先	0954-36-2111
	URL	<a href="http://www.sashoren.ne.jp/takeoshi/">http://www.sashoren.ne.jp/takeoshi/</a>

平成 30 年 12 月現在

**【事業者概要】**

平成 18 年の市町村合併に伴い、旧山内町商工会と旧北方町商工会が武雄市商工会として発足し、現在も山内事務所と北方事務所を有する。商品開発の実務は、商工会バックアップのもと商工会青年部が実施。

平成 34 年度に九州新幹線が武雄温泉駅での対面乗換方式で開業することが決まっており、ヒト・モノの流れの変化に期待。  
（右画像は駅周辺整備計画パース図）



**【事業概要】**



◇背景・経緯

市西部の山内地区は県内有数の生姜産地であり、1600 年代からいぬぼしり<sup>いぬぼしり</sup>犬走生姜を生産している。特産品である生姜を活用した商品開発については、平成 27 年度から地方創生事業として菓膳ジンジャーエールのレシピ開発に取り組んでおり、生姜汁に各種スパイスを加えた試作品が完成していた。

今回の事業では当該試作品をブラッシュアップし商品化させ、事業として成り立つよう販路を開拓することを目的としている。

◇開発概要

血行促進・代謝促進・胃の調子を整える効果のある菓膳ジンジャーシロップを開発する。洗練された商品パッケージやポップ、チラシなどを作成することで商品PRを展開。これらのデザインは、組織内にいるデザイナーが担当した。

各種イベントへの出店や市内観光施設・宿泊施設への無償提供することにより、認知度向上とともに販路拡大を図ろうとするもの。



## 【成果】

### ◇地域性・特徴

武雄市で古くから地元で生産され親しまれている生姜を使用した商品を開発できたことで、市のPRにつながっている。当該シロップは、料理やジュース、ハイボールなど汎用性が高く、手軽に地元の特産品をPRできる商品となっている。



商品化されたジンジャーシロップ



ラベルデザイン

### ◇商品化・販売先

完成した商品は、地元の道の駅や物産館で販売し好評を博している。また、調味料として飲食店のメニューに利用してもらうほか、居酒屋でジンジャーハイボール等にして提供してもらっており、販路も広がってきている。



物産館での陳列状況



ハイボール用の三角柱ポップも作成

### 【今後の展望】

将来的には武雄市で生姜ブランドを確立したいと考えているが、現在の生産体制では2,000～3,000本のロットが限界であり、壁を感じている。価格においても200mlビンで1,300円に設定されており現体制での製造原価は5割ほどであるが、事業化に向けてコストの削減など生産体制の見直しが必要。

これを打開するため、現在商工会青年部の管理下で生産を委託しているが、近い将来は事業を一括して担うことができる事業者を探している段階。

本商品に限らず、生姜粉末を活用し、塩と生姜粉末を混ぜたハーブソルト、生姜を練りこんだうどんなど、生姜を活用した商品開発を行い武雄市のPRに取り組んでいきたい。



出向宣伝の様子